

公立大学法人横浜市立大学の令和3年度業務実績評価の結果について

公立大学法人横浜市立大学（以下「市大」という。）の毎年度の業務の実績に対する評価は、横浜市が地方独立行政法人法に基づき設置している横浜市公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）が行っています。

令和3年度の評価結果については、同法に基づき、評価委員会が本年8月19日に市大に通知するとともに、設立団体の長である市長に対して報告し、9月6日に公表しました。この報告を受けた市長が、同じく9月6日に市会への報告を行いました。

1 令和3年度評価結果の概要

市大から提出のあった業務実績報告書等に基づき、評価委員会は書面審査及びヒアリングを実施し、教育・研究・地域貢献などの項目ごと、次の基準で総合的に評価を行いました。

- S：年度計画を上回って達成している、または達成の難易度が高い計画を順調に達成している
- A：年度計画を順調に達成している
- B：年度計画を十分には達成できていない
- C：年度計画をほとんど達成していない

裏面あり

項目	評価	主な内容 (○：特に評価できる点 ●：年度計画が達成できていない点や今後期待する点など)
全体		令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策で制約がある中、 <u>様々なきめ細かい対応がなされており、教育・研究・医療・その他全般にわたって、優れた取組をしてきたと認められる。</u>
I 大学の教育研究等の質の向上		
1 教育面	A	○データサイエンス学部の充実に伴って、この分野に関する教育が全学的な広がりをもって発展していることが理解できる。 ○全学横断的な組織となる「高等教育推進センター」を設置し、教育の質の保証を高める取組を全学で推進している。 ●多くの社会人にとって <u>キャリア中期での学び直しは大きな意義がある。今後も社会人向けの学びの機会のさらなる充実を期待したい。</u>
2 研究面	A	○研究支援体制の充実を図りつつ、 <u>新型コロナウイルス感染症関連の優れた研究成果の公表など、着実に研究力を強化していることがうかがえる。</u> ○論文数、科研費採択率、共同研究、受託研究数などの指標が目標を超えており、顕著な成果を挙げている。
II 地域貢献	S	○ <u>地域志向科目の開講、地域実践研究の開始、横浜市と協力した種々の取組、市民等も対象に含めた新型コロナワクチンの職域接種など、地域に貢献する活動を積極的に遂行した。</u> ○従来のエクステンション講座だけでなく、 <u>市大の授業8講座を市民に開放したことは、公立大学として評価できる。</u> ○学生のうちから様々なボランティア活動や地域活動に参加する機会があるのは、社会の一員としての自覚や自立を促すうえでも大変有意義な機会である。
III 国際化	A	○ <u>渡航プログラムにはまだ多くの配慮が必要とされる状況下で、オンラインも活用した国際交流の機会を創出した。</u> ○実際に海外渡航を行った学生らについて渡航先の関係機関と周到な準備を施して有意な経験を積むことを支援した。
IV 附属2病院	S	○ <u>附属病院では脳神経外科領域で国内初となる手術支援ロボットアームを導入し、高難度の手術に対応したほか、附属市民総合医療センターでは手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)を2台体制で稼働し、高度で質の高い医療提供に取り組んだ。</u> ○ <u>新型コロナウイルス感染症への対応、新型コロナ専門病院への尽力、深夜・早朝のワクチン接種支援、他大学の職域接種にも協力するなど、横浜市の保健医療施策に寄与したことは大いに評価される。</u> ○附属2病院において多数の後方病院に、一斉に情報を発信する転院調整支援システムが稼働し、業務の効率化・標準化が図られた。
V 法人の経営	A	○教職員の働き方改革に向けて出退勤管理システム、テレワークの本格稼働などICTインフラ整備・DX化・ネットワーク化に積極的に取り組んだ。 ○関係者の工夫と努力により、 <u>大学・2病院の全セグメントにおいて黒字決算となったことは大いに評価されるべきものとする。</u> ● <u>受験生は志望大学を知名度や偏差値だけで選ぶ時代ではなくなっている。入学したらどんなことができるのか、イメージを持ちやすくするためにも、動画やSNSも含め多様でさらなる充実した情報発信を期待したい。</u>

項目	評価	主な内容 (○：特に評価できる点 ●：年度計画が達成できていない点や今後期待する点など)
VI 自己点検	A	○病院機能評価と大学機関別認証評価とを受審し、適合判定を得ており、適切な対応に努めたと評価できる。

【参考】横浜市公立大学法人評価委員会

1 設置の目的

法人の業務の実績に関する評価等を行うため、平成16年12月に評価委員会を設置

2 委員構成

	氏名	役職等
委員長	工藤 智規	元文部科学審議官
委員	今市 涼子	学校法人 日本女子大学理事長
	有賀 徹	独立行政法人 労働者健康安全機構 理事長
	大久保 千行	横浜商工会議所 副会頭
	河合 千尋	日本公認会計士協会神奈川県会 公認会計士

3 令和3年度開催実績

第85回(5月21日)、第86回(7月16日)、第87回(8月17日)、第88回(3月14日)